

平成 21 年度 亀田郷管内土地改良事業計画

1. 県営事業

単位：千円

事業名	地区名	開始年度	施設名	事業量	工事内容	事業費
地盤沈下対策事業	新潟南部5期	H15～	沢海揚水機場	1式	連絡水路、電気設備ほか	352,000
			袋津(上流部)排水路	1式	測量設計	
	新潟南部6期	H17～	阿賀幹線用水路	35m	測量設計、管水路	38,000
			阿賀幹線用水路	260m	コンクリート護岸ほか	
新潟南部7期	H19～	阿賀幹線用水路	1式	付帯工	300,000	
		亀田(上流部)排水路	1式	測量設計		
流域水質保全機能増進事業	亀田郷	H12～	清五郎排水路(下流部)	1式	護岸整備	150,000
			水管理システム	1式	維持管理システム	
	亀田郷第2	H20～	海老ヶ瀬排水路	60m	コンクリート護岸	60,000
			大湖排水路	1式	測量設計	
基幹水利施設ストックマネジメント事業	新潟第2期	H20～	西線用水路、鐘木用水路、横越排水路(下流部)、嘉瀬2号排水路	1式	施設診断、保全計画策定	1,860
			計			

2. 団体営事業

単位：千円

事業名	地区名	開始年度	施設名	事業量	工事内容	事業費
基盤整備促進事業	横越東期2	H20～	小杉用水路	1式	測量設計	5,300 (5,300)
地域用水機能増進事業	亀田郷	H12～		1式	計画策定、支援活動、増進活動、補修整備	17,000
国営造成施設管理体制整備促進事業	阿賀野川左岸	H17～		1式	強化支援	21,000
地域水ネットワーク再生事業	亀田郷	H20～		1式	冬期ソフト、環境用水ソフト、環境用水ハード	46,000 (41,000)
地域農業水利施設ストックマネジメント事業	亀田郷	H20～	横越第1揚水機場、横越第2揚水機場、中野山揚水機場、荒所排水路、大曲排水路、平山排水路	1式	補修整備、排水フリーユーム、測量設計	54,500 (49,500)
維持管理適正化事業			川根谷内支線2号用水路	154m	塩ビ管	2,500
			前田排水路	70m	排水フリーユーム	3,000
計						149,300 (95,800)

※事業費下段の()は、平成20年度繰越し額

平成21年度 管内事業内容

〔県営事業〕

県営事業は、総額9億1186万円、地盤沈下対策事業、流域水質保全機能増進事業、基幹水利施設ストックマネジメント事業の3事業を実施します。

地盤沈下対策事業は、継続となる新潟南部5(7)期地区のほか、本年度より新潟南部8期地区に着手し、沢海揚水機場、阿賀幹線用水路、袋津(上流部)排水路、亀田(上流部)排水路の整備を7億円で進めます。

流域水質保全機能増進事業は、亀田郷地区で親排水機場内にある

〔団体営事業〕

団体営事業は、総額1億4930万円、基盤整備促進事業、地域用水機能増進事業、国営造成施設管理体制整備促進事業、地域水ネットワーク

水管理システムと清五郎排水路の整備、亀田郷第2地区で大湖排水路の測量設計と海老ヶ瀬排水路の整備を2億1000万円で行います。

基幹水利施設ストックマネジメント事業は、用水路2路線、排水路2路線の機能診断・保全計画策定を186万円で行い、施設の長寿命化を図ります。

再生事業・地域農業水利施設ストックマネジメント事業・維持管理適正化事業の6事業を実施します。

基盤整備促進事業は530万円、平成20年度に更新した横越第3揚水機場の関連水路である小杉用水路の測量設計を行います。

地域用水機能増進事業及び国営造成施設管理体制整備促進事業は、ともに本年度が事業完了年度となり、地域用水機能増進事業を1700万円、施設の多面的機能及び維持管

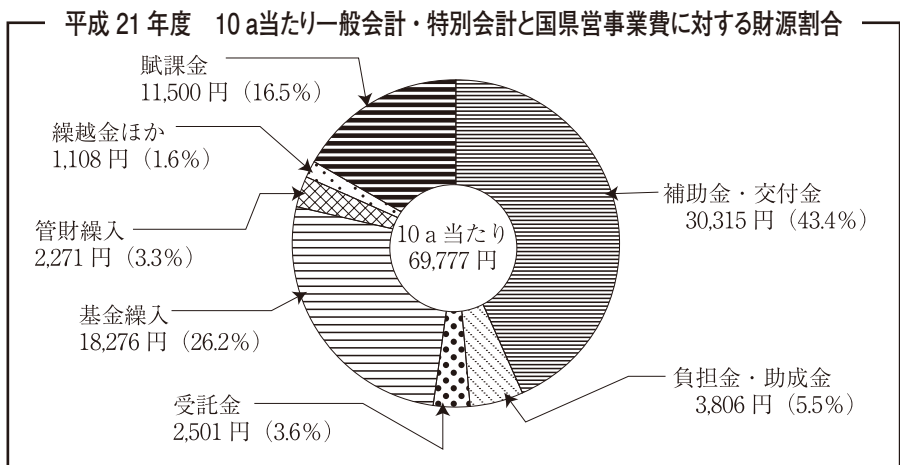
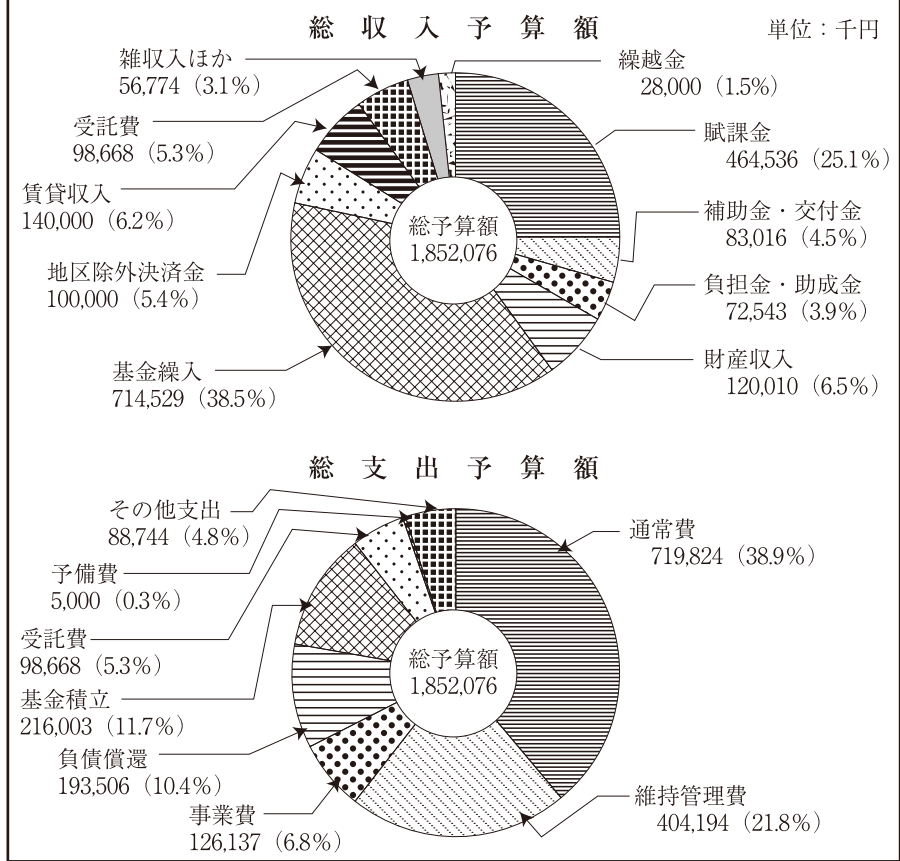
理体制の強化を図る国営造成施設管理体制整備促進事業を2100万円で行います。

平成20年度に新規採択された地域水ネットワーク再生事業は、平成20年度繰越し分を含め4600万円、新たな環境用水権の取得と既存環境用水の活用を行い、地域環境の向上を図ります。

同じく平成20年度に新規採択された地域農業水利施設ストックマネジメント事業は、平成20年度繰越し分を含め5450万円、既存施設の機能維持を目的とした補修整備を行います。

維持管理適正化事業は、550万円、川根谷内支線2号用水路、前田排水路の整備を行います。

平成 21 年度 総予算額分析グラフ



平成21年度の賦課金につきましては、新年度予算の編成にあたり総務部会・理事会での審議を経て、経常費の削減と財政調整基金の充当により、据置き10a当たり1万1500円に決しました。

また、農地転用に伴う決済金額についても、10a当たり65万円に据置きしました。

平成21年度一般会計予算額は、15億3300万円(平成20年度20億7525万円)と前年度比にしますと26.0%減りました。これは事業費

や受託費が減ったためです。

また、特別会計予算3億1900万円(管財特別・決済金特別・地域用水機能・環境用水活用)と併せた平成21年度総予算は、18億5207万円です。

主な収入財源は、賦課金25.1%、公的助成金8.4%、基金繰入38.5%です。これに対する主な支出は、経常費38.9%、維持管理費21.8%、事業費6.8%、国営事業の負債償還10.4%です。

なお、平成21年度の一般会計・特別会計と国営事業費

一般会計予算財源分析

費目	支出予算		財源分析 (10a 当たり)	
	金額(千円)	割合	10a 当たり(円)	賦課金(円)
経常費	697,267	45.5%	17,678	10,401
財産費	35,375	2.4%	897	0
維持管理費	404,194	26.4%	10,248	1,716
(事業)	(205,515)	(50.8%)	(5,210)	
事業費	17,000	1.1%	430	138
県営事業分担金	75,445	4.9%	1,913	0
県営附帯事業	5,000	0.3%	126	0
受託費	98,668	6.4%	2,501	0
負債償還	193,506	12.6%	4,905	0
繰出金	6,558	0.4%	166	0
小計	1,533,013	100.0%	38,864	12,255
収入	△ 29,780		△ 755	△ 755
計	1,503,233		38,109	11,500

※立替金は経常費を含む
 ※財産費のうち財産取得費は、経常費。基金積立金は、財産費。

平成21年度予算概要

賦課金10a当たり 一万一五〇〇円に据置き

事業費を賦課面積で割りますと、10a当たり6.9万円の投資額となり、これに当てられる賦課金の割合は16.5%です。